第２回　日南市立地適正化計画策定委員会　議事メモ

日　　時：令和7年3月28日（金）13:30～15：00
場　　所：本庁舎付属棟会議室(飫肥杉TOP館)
出 席 者：日南保健所　熱田総務企画課長、日南市土木事務所　新見工務課長、
日南市農業委員会　平賀会長、日南市自治会連合会　益田会長、
日南商工会議所　枡屋事務局長、九州旅客鉄道株式会社 宮崎支社　片田企画運輸課長
宮崎交通株式会社 日南営業所　利光所長、宮崎県タクシー協会 日南営業所　高橋氏、
NPO法人子育てサポートにちなん　谷口理事長、
社会福祉法人 日南市社会福祉協議会　川俣事務局長
事務局　　総合政策部　　：宮口部長
総合政策部　未来創生課　　：古澤課長
未来創生課未来創生係　　：渡辺課長補佐、坂元主査
セントラルコンサルタント（株）：小坂、龍野、正岡、米倉

■意見

委員）　・鉄道やコミュニティバスなど全く利用しないと回答した方が多く、沿線に住んでいる方々を対象にすれば、かなり利用率が上がると思います。なので、どこを母数にするかによって、全然違った回答になるのではないかと思いました。

事務局）　・その辺を踏まえてアンケートについては細分化して考えたいと思います。

委員）　・利用しなかった理由に関する質問をしなかったので、必要ないのか、知らないだけなのかわからない。

事務局）　・立地適正化計画を行うにあたりまして、対象エリアの分析結果はまちづくりに必要なことであると思います。来年度、地域公共交通に係る計画等で市内のニーズを把握する取り組みを検討しているので、そちらでも調査を行います。

委員）　・医療福祉の回答が多いとのことだったのですが、年代の割合はどのくらいでしょうか。

事務局）　・市民アンケートの70代以上が48%、60代が26%、50代が13%です。

委員）　・アンケートに回答した高校生は将来日南市に帰った時のイメージで答えているのでしょうか。

事務局）　・高校生向けに行っていますが、戻ってきた場合を前提とした質問をしていませんので、高校生の率直な意見になっています。

委員）　・24ページの人口密度の図が非常にわかりにくいです。日南市として、どのレベルが妥当だと考えていらっしゃるか教えていただきたいです。

事務局）　・人口の減少を避けられないので、人口減少の幅を減らそうという取り組みを市役所として行っています。そういった背景を踏まえて、日南市をどういったカラーリングにしていくかがなかなか難しいと考えておりまして、人口が

減っていく中で、都市機能を効果的に配置していくことを目指す計画として考えているところです。

委員）　・34ページについてはで公共交通でカバーされているのですけども、今の公共交通機関があることが前提ですよね。さらに、公共交通機関を利用しないというのは、便数が少ないとかですよね。政策としては、利便性を支援しないと計画そのものが成り立たないと思います。今の公共交通を維持、さらに利便性をよくする方向で検討をお願いします。

事務局）　・こちらについては公共交通計画の検討において深堀していきます。利便性も考慮して、策定していきたいと思います。

委員）　・津波の関係で医療機関のリスクが懸念されていますが、そちらの分析がないのはなぜでしょうか。

事務局）　・災害リスクと病院の重ねは精査しておりませんので、またご報告させていただきます。

委員）　・農地がかなり減っています。用途地域内で用排水路を管理する人も減ってきているので、修繕も難しくなっています。その様な点も考えていただきたいと思います。

事務局）　・こちらについてはまた分析を行いたいと思います。

委員）　・洪水などの分析を見て、どこが安全なのかわかりません。堤防などの整備が必要になるのではないかと思います。

事務局）　・地域防災計画や津波避難計画と整合性を図りながら進めていくようにします。

委員）　・計画の期間は何年間でしょうか。アンケート結果と分析とのギャップがあるように感じました。ニーズをどのように分析されているのかお聞きしたいです。

事務局）　・計画期間は20年間です。アンケートと分析の乖離についてはそこまでの分析はできておりません。アンケートの地域別の分析と公共交通の利用状況のクロスの分析をしまして、またご報告させていただきます。

以　上